

犯罪から子供を守る～今、親ができること～

小学校に入学すると、一人で行動する機会が増え、このころから犯罪被害に遭う確率が高くなります。小学校に上がる前の今、日常生活の中で、具体例を交えて繰り返し教えることで、「自分の身(大切な命)は自分で守ることのできる子」に育てましょう！

※県警では、防犯動画を公開しています。親子で見てください。

ちばっこ

検索



ハッキリ断ることで被害を防ぐ

犯罪者に声を掛けられ、その場でハッキリ断ることにより、その先の被害の多くを防ぐことが出来ます。

モジモジしていたり、曖昧な態度をとっていると、犯罪に巻き込まれる可能性が高くなります。

そこでハッキリと断ることが出来るように日頃から指導しましょう。



ちばっこ

いやです だめです いきません

実際にあった事例～ハッキリ断ろう～

送ってあげるから、車に乗りなよ。

一緒に子犬を探してくれないかな？

かわいいね！写真撮らせて。

一緒に公園で遊ぼうよ。

(自転車でぶつけて)大丈夫？怪我はない？

犯罪者には色々なタイプがいます。子供の裸を見たり、触ったり、また、自分の陰部を見せたり、触らせたりする犯罪者もいます。

子供は被害に遭っていることに気づかずにいる場合も多く、大人になってから気づき、心を痛めることがあります。

嫌なことをされたと訴えることが出来るように教えましょう。

水着で隠れる部分については、

- 人に見せない
- 触らせない
- 人を見ない
- 触らない
- 写真を撮らない
- 撮らせない



防犯ブザー

身の危険を感じたらすぐに使えるよう普段から使い方に慣れるように指導しましょう！危険を周囲に知らせることが出来ます。

※すぐに手の届く位置につけてあげましょう！

ランドセルだけでなく、塾用バッグなどの普段使うバッグには必ずつけてあげましょう！防犯ブザーは、お・お機能の無いシンプルなものを選びましょう。電池の点検も忘れないで！



持ち手の紐は子供が掴みやすいように長いもの